

【プログラム10：いろいろな仕事に関心をもとう！】

《 形態：全 → 全体 個 → 個人 G → グループ 》

時間	形態	講座の流れ
1分	全	1. ねらいを確認する。 【1分】 [キーワード] ○いろいろな仕事
26分	個 G 個	2. 多様な仕事について関心をもつ。 【13分】 (1) 知っている仕事の名前や地元（熊本県内と捉えてもよい）にある会社を付箋に書き出す。 (2) グループごとに、それぞれが書き出した付箋を、「第一次産業、第二次産業、第三次産業、その他」の4つのグループに分ける。 (3) グループワークシートを見ながら、書き出された仕事について、どんなことをするのか、それをするにはどんなこと（資格や免許、それに向けた進路）が必要かを「知っている」「知らない」で考え、ワークシートに数を記入する。
	全	3. 「ビジネスの相手が誰であるか」で仕事を考える視点を知る。 【10分】 ○ビジネスの相手が企業、会社 → B to B ○ビジネスの相手が消費者（Consumer） → B to C ・それぞれの特徴や魅力等を簡単に説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈B to B〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業間取引を意味し、企業が企業に向けて商品やサービスを提供する。 ・ターゲットが限定されていることや取引先も固定されている場合が多いため、宣伝費、広告費等のコストが低い。 ・消費者の動き（流行等）に左右されることが少ない。 <p>〈B to C〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業が個人に対して商品・サービスを提供する取引のこと。一般消費者に向けてモノを売る企業。 ・消費者の認知度が重要なので、マスコミ宣伝等を活用して消費者に知らせることが多い。 ・消費者の意見等を身近なところで聞くことができる。 </div>
3分	全	4. 感想や感じたこと等を紹介する。 【3分】 5. まとめ 【3分】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・将来、就きたい仕事を決めている人もいるだろうし、まだ、そこまでは決めていないという人もいるだろう。 ・しかし、今、自分たちが知っている仕事は全体の一部と言っても過言ではない。社会は、いろいろな仕事があって成り立っている。どんな仕事があって、それをするためにはどんなことをしていったらいいのか、ということに少しずつ関心をもって知っていくことが大事だ。 ・就きたい仕事に向かって、「今、何をしたらいいのか」も併せて考え、前に進んでいくことが大事だ。 </div>

【親になったときに考えてもらいたいこと】

- ・社会はいろいろな仕事があって成り立っている。自分の仕事を大切に思うことと同時に、どの仕事もなくしてはならないものであるということを大事にしてほしい。親が自分の仕事に誇りをもち仕事をしている姿から、子どもも親の仕事や親自身のことを誇りに思うことにつながるだろう。